(2)製造数量、輸入数量及び出荷数量

西暦□□□□年度実績値

年度計

製造・輸入合計数量 □(t)　製造数量 □(t)　輸入数量 □(t)

出荷合計数量 □(t)

(3)用途別出荷数量

用途番号		出荷数量
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)
□□□	具体的用途（　　）	□(t)

様式第12（第9条の3第2項関係）

書類名　優先評価化学物質製造数量等届出書

提出日（西暦）　年　月　日

あて先　経済産業大臣　殿

1．届出者の氏名・住所

届出者の氏名又は名称及び法人にあつては、その代表者の氏名

届出者の住所

法人番号 □□□□□□□□□□□□□

担当部署、担当者氏名及び連絡先

担当部署

担当者氏名

電話番号

メールアドレス

備考

1. 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2. 本届出書の作成にあたつては、記載要領を参考とすること。
3. 四捨五入前の製造・輸入合計数量が1．０ｔ以上の場合は届け出なければならない。
4. 法人番号とは、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成二十五年法律第二十七号）第39条第1項又は同条第2項の規定により指定されたものをいう。
5. CAS登録番号（CAS RN）は、米国化学会（American Chemical Society）の情報部門であるCAS（Chemical Abstracts Service）によつて個々の化学物質に付与された識別番号である。把握している場合は記載すること。
6. 記入単位はｔとして、小数点以下は四捨五入の上記入すること。
7. 製造数量・出荷数量には、同一の製造・輸入者の事業所で全量他の化学物質に変化する数量を含めないものとすること。
8. 具体的用途の欄は、用途番号の欄に記載要領に掲げる用途のうち詳細用途番号「y」又は「z」と記入した場合には、具体的な用途名を記載すること。
9. 届出対象物質に関して得られた新たな知見及びその製造、輸入、用途等の状況について参考となる事項を記載した書類を添付することができる。
10. 届出対象物質に関しての構造・組成について参考となる事項を記載した書類を必要に応じて添付すること。